

# 脳をダメすことで脳を知る

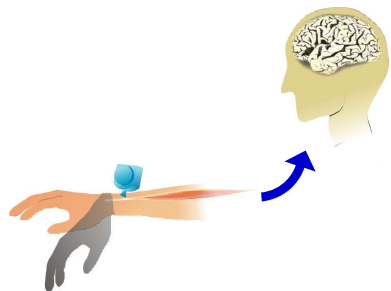
～ 脳から学ぶ「サボり」かた ～



## 概要

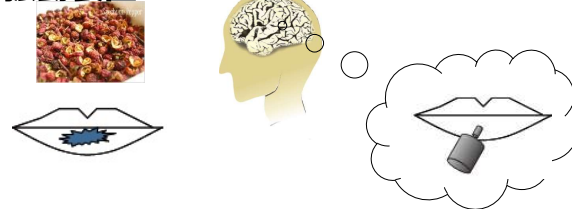
私たちは身の回りや自分自身を正確に認識していると信じていますが、そうではありません。脳は上手に「サボって」情報処理を節約しています。錯覚現象は、脳がどのようにサボっているかを教えてくれる、重要な先生です。

・ 単なる振動で体が動く感覚



・ 山椒が辛いんじゃないかと、ちっちゃな

振動装置？



その他、

・ ゴムの手錯覚、ミラーハンド錯覚

・ アリストレス錯覚など、

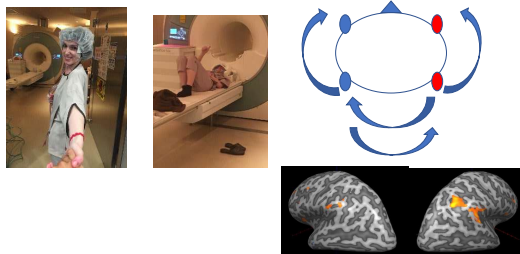
発表では、いくつか手にまつわる

不思議な錯覚を体験してもらいます

\* 電気は流しません！

\* 家でもできる、簡単な錯覚を紹介します

・ 耳の近くに電気を流すと、身体が揺れる



## 特徴

- ・ 脳は自分の身体のことを良く分かっていない
- ・ 一部の情報さえ得られれば、これまでの経験をもとに、簡単に「認識」を作り出してしまふ。

## ユースケース

- ・ 視覚の錯覚（錯視）だけでなく、身体の錯覚も簡単に生じる
- ・ 錯覚の法則が分かれば、リアリティー体験を簡単に作り出せるようになる？

## 今後の展開

- ・ 新しい錯覚を見つけ、その起きる仕組みを脳の研究を通して明らかにします。
- ・ 脳が「サボる」そのサボり方を知ること、効率的な情報伝達システムの開発を目指します。

【お問合せ先】

未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター 脳情報通信融合研究室 主任研究員：羽倉 信宏

Mail : n.hagura@nict.go.jp